

事務事業 No./名 称	■サービス部門 健福-10 行旅病人死亡人援護事業 □支 援 部 門									
主管課	生活福祉課					関連課				
分野名	健康福祉									
目標 (目標値)	行旅病人及び行旅死亡人取扱法第2条の行旅病人の救護及び同法第7条による行旅死亡人の援護等を行う。									
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考					
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
	事業の対象者数									
運営資源 状 況	決算値(千円)	1,022	1,276	786						
	(国・県)	241	737	437						
	(負担金等)	3	0	24						
	(一般財源)	778	539	325						
	人員配置数	0.1	0.1	0.1						
	人件費(千円)	823	895	903						
	協働の パートナー	無	無	無						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	1,845	2,171	1,689						
	市民1人当 りの経費(円)	10	12	10						
	対象者1人 当りの経費(円)									
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒									
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
		目標値								
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値								

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止									
行旅病人死亡人援護事業	1,022千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	☐ A	☒ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要	行旅病人の援護及び行旅死亡人の火葬、官報公告、遺骨の保管等を行う。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	遺骨の保管方法について、引き続き検討を行うことが必要である。		
課題解決のための取組	遺骨の保管場所の適切な管理に努めるとともに、墓地への埋葬等も含めた保管方法について、検討している。	取組の結果	□解 決 ■未解決
未解決の課題	遺骨の保管方法について、引き続き検討を行うことが必要である。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) 	①効率性	○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続C:改善・見直しD:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了		
		②妥当性	○			県をはじめ、関係機関と協議を行いながら、引き続き検討を行っていく。	課長等名	
		③有効性	○				B	生活福祉課長 曾根 健治
		④公平性	○					

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

[illegible]